

中学校社会科地理

地域調査マニュアル

_____ 中学校 _____ 年 _____ 組 _____ 番
氏名 _____

平成 27 年度郷土博物館活用推進委員会作成

1. 「地域調査のテーマ決め」の仕方

地域調査で調べる第一段階としてテーマ決めの仕方について説明します。地域調査をするときに、どうやってテーマを決めていないと、「ただ調べただけ」になってしまいます。

テーマ設定を行う事で、調べたことを他人に伝えたいくなるような地域調査になり、調べた地域を好きになる最初の一步を踏み出せるはずです。

テーマの決め方

1. 興味のあることからテーマを決める

この方法を使えば、自分の興味のあることを調べられる分、関連づけるのが難しい面がある。自分独自の視点で調べられるので独自性は出しやすい。

- ・自分が興味のあることや好きなことを紙に書き出す。
- ・紙に書き出したことと地域の関連が高いと考えられるものをテーマにする。

2. 地理的な視点からテーマを決める

地理的な視点であれば調査資料が豊富で調査はやり易いが、今まで研究されている内容も多いので、独自性にかける場合がある。

- ・地域の歴史に関することから
(例) 埋め立ての歴史 地名の由来 歴史的遺産 街道 寺社仏閣の分布
- ・環境問題に関することから
(例) 地域の動植物 ごみ問題 環境保全の取り組み
- ・産業や土地利用に関すること
(例) 農林水産物 生産緑地 伝統産業の有無 工場の分布 鉄鋼団地 商業施設
- ・人口に関すること
(例) 人口の分布 人口密度 産業従事者別の人口分布
- ・交通に関すること
(例) 鉄道網 通勤・通学先の分布 道路の幅や形状 高速道路
- ・自然や防災に関すること
(例) 防災対策 土地の高さ 河川の特徴 降水量と気温

3. 生活の視点や時事的なことからテーマを決める

普段生活しているなかで感じる疑問や、マス・メディアを通じて報道されている内容からテーマを決める。統計を集めるのは難しいが、実際に起きている地域問題に迫る調査となる。

・生活の視点から

(例) 医療問題(医師数の年次推移) 電力供給 祭り 方言 テレビドラマのロケ地

・国際交流に関すること

(例) 浦安市の姉妹都市フロリダ州オーランドについて

・国内交流に関すること

(例) 浦安市民の森がある群馬県高崎市倉渕について

テーマが決定した後に注意したいこと

テーマが決定後、調査に向けての準備、実際に調査をおこなっていく中で、テーマとは異なる調査になって、まとめられなくなってしまったり、テーマ自体を変更する必要が出てしまったりしてしまふことがあります。

調査していくなかで別のテーマにしたいと考えてしまうときは、調査計画があやふやで、具体性のない調査計画となっている場合が多いです。もちろん自分で調べることが地域調査では大切なことですので、調査テーマを変えることは悪いことではありません。

しかし、調査をするのが難しそうだからという理由でテーマを変えたりすると、最終的に中身の無い地域調査になってしまいます。

上記のようなことにならないようにするためには、テーマを決めたら「調べる目的」と「調べる内容」、「調べたときにわかることを事前に予想する」ことを必ずはじめに行っておくとよりよい地域調査になるでしょう。

2. 地域調査の調べ方

つぎに、調査方法のポイントです。設定したテーマについて、どの調査方法が適しているかを考えて決めましょう。

1. フィールドワーク

地域調査は、やはり自分の足で行くことが大事です。そこで見てきたもの、わかったこと、感じたことを記録に残しましょう。

- ・写真を撮る
- ・スケッチ
- ・地域の人(関係者)に話を聞き、メモを取る
- ・資料をもらう

2、事前または事後に調べる。

フィールドワークの前に、事前に必要な情報を調べておけば、効率よく動くことができます。調べるうちに新たな疑問が浮かんでくることもあるでしょう。それもフィールドワークにつなげてください。

また、フィールドワークをしている中で疑問に思ったことや、新たに発見したことがあれば、必ず事後に調べましょう。

- ・地図、地形図を利用する。
- ・図書館や博物館で、浦安関連の資料や図鑑を探してみる。
- ・市役所や博物館、各学校のホームページ、クリーンセンター、水道局など、公式のホームページは信用できる情報をのせているので、活用しましょう。

3、学習したことを応用する。

今まで地理の授業で学習した内容を活かしてみましょう。

- | | |
|----------|-------|
| ・地図の読み方 | ・地図記号 |
| ・土地利用 | ・等高線 |
| ・ハザードマップ | など |

3. 地域調査のまとめ方（流れ）

1. テーマ設定

- ・自分が興味・関心のある事柄について知りたいこと、調査したいことをテーマとして設定する。
- ・日頃から疑問に思っていることをテーマとして設定する。
- ・読み手の関心を引き、「面白そう、読んでみよう」と感じてもらえるものを作成する。
- ・書かれている内容や興味・関心をもった内容が読み手にわかってもらえるように、表現を工夫する。

2. 動機や目的

- ・設定したテーマに興味・関心を持ったきっかけや出来事、体験を書く。
- ・なぜこのテーマを設定したのかを読み手に知らせる。

3. 調査方法や内容

- ・テーマについて、何をどのように調べるのかを書く。
- ・調査にあたって、使用するものや調査方法を書く。(書籍・インターネット・現地調査など)

4. 結果の書き方

- ・実際に調べて何がわかったかを書きます。図や表、イラスト、グラフ、写真などを活用して、見やすく、読み手に伝わりやすいようにまとめる。

5. 考察(まとめ)の書き方

- ・調査を行ってわかったことなど自分の言葉でまとめる。
- ・最初に結果を予想した場合は、予想と実際を比べて違いやその理由を明らかにする。

6. 感想と課題

- ・この調査を通しての感想を書く。
- ・新たに生まれた疑問や今後の課題を書く。

7. 参考文献等

- ・本の場合：著者名、書名、出版社名、発行年
- ・ホームページの場合：ホームページアドレス(URL)、閲覧した年月日

4. 地域調査のまとめ方(ポイント)

ここでは地域調査で調べた内容のまとめ方のポイントを記載します。単に調べたことを文章で書き連ねるのではなく、調査内容に適した資料を見つけ出して添付したり、自分でグラフや表など資料の作成を行うことにより、新たな気付きがあったり、調べた内容を更に理解したりすることにつながります。

1. 参考にするの良い情報(資料)

- ・人口 → 各都道府県・市区町村が公表している情報を参考にするの良いでしょう。

総人口だけでなく、男女別人口や人口の推移、平均年齢など様々な資料
を見ることができます。情報をもとに自分で人口ピラミッドを作成してみ
るとわかりやすくまとめられます。

- ・災害 → 各都道府県・市区町村が公表しているハザードマップを活用すると良いで
しょう。ハザードマップとは、自然災害が起きた時の被害を予測シミュレー
ションできる地図のことです。

ちなみに浦安市は水害ハザードマップを公表しています。災害時、自分の
住んでいる地域は、どのような予測なのか？被害の予測が大きい場所の理
由は何なのか？疑問に思うことを見つけ、追究してみましょう。

- ・財政 → 各都道府県・市区町村が公表している情報を参考にすると良いでし
ょう。予算・決算の情報はもちろん、詳細な歳入（税金などの収入）や歳出（お
金をどんな事業に使ったか）も見ることができます。情報をもとに円グラ
フや柱状グラフなど視覚的な資料を作成するとわかりやすいです。

- ・歴史 → 各都道府県・市区町村の郷土博物館を利用すると良いでしょう。郷土博物
館は体験できたり、模型を見ることができたり、学芸員さんに話をうかが
うことができたりと活動的な学習が可能な場所です。見たものは写真に収
めておくと、まとめる時に役立つでしょう。（撮影不可の場合に気をつけま
しょう。）また、郷土博物館発行の書物も展示されているので、その地域の
詳細な本がなくて困っている時にも活用できるでしょう。

- ・その他 → 調べたい地域（各都道府県・市区町村）のホームページや博物館、美術
館など身近にある施設を利用してみると良いでしょう。

2. 情報の活用法

入手した情報を「そのまま」使うのは…？

1つの資料から読み取れる情報だけ使うのではなく、複数の資料から情報を得て、
比較検討することが大切です。

それにより、「相違点」や「共通点」を見つけることができ、考察につなげることが
できます。「自ら発見する」というところが、中学生の力の見せ所です。

3. 参考文献の書き方

本のタイトルを書けば良いわけではない！

※以下に示す書き方は一例です。

他の書き方もあります。

書籍の場合

著者名 (発行年 西暦で書く) 『書籍名』 出版社名
① ② ③ ④

上記のような順番で書きます。

②の発行年には()を③の書籍名には『 』を付けましょう。

web ページの場合

作成者名 「web ページのタイトル」 <URL> (アクセスした日付)
① ② ③ ④

上記のような順番で書きます。

①の作成者名はわかる場合のみで良いでしょう。③のURLとはweb ページのアドレス(住所)のことです。

Web ページ上の情報は更新や削除される可能性があるため、活用したい資料はプリントアウトしておきましょう。

新聞記事の場合

「記事のタイトル」 『新聞紙名』 年月日 朝刊もしくは夕刊
① ② ③ ④

上記のような順番で書きます。

もし著者名がわかれば、一番前に入ると良いでしょう。

編集者 美浜中木元先生 見明川中河村先生 入船中錦織先生 富岡中山本先生
(学校は平成27年度次在籍)